



やさか小

浜田市立弥栄小学校
浜田市弥栄町長安本郷 325-1

～描き やりきり 創り出す～ 令和8年7月号（文責 毛利）

「描き やりきり 創り出す」④～1学期が終了します～

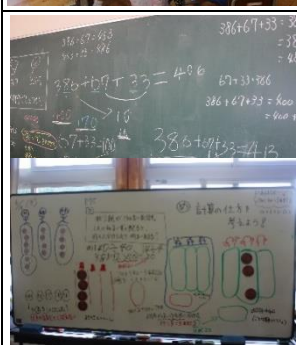
まもなく1学期が終了します。子どもたちの暮らしの中には多くの「描き やりきり 創り出す」がありました。子どもたちの取組一つ一つに価値をつけ、1学期の学びとくらしの成果や自分（たち）の成長を実感し、2学期につながる締めくくりができるとよいです。1学期、子どもたちも職員もよく頑張りました。何気ない日常に大事な学びがありました。「描き やりきり 創り出す」学びの一部を紹介します。



1・2年生は、安城・杵束方面に町探検に行きました。普段何気なく暮らしている町の中に、新たな気づきがたくさんあります。地域の多くの方々にサポートをしていただき、よい学びができています。学校では、町探検の中での気づきをマップにまとめました。言葉や図に表現していくことで、気づきがより深く自分の中に落とし込まれます。「気づき」が「理解」になります。



どの教科学習でもそうですが、「表現と思考は連動」しています。表現することで考えをもつことができ、考えたことを表現することで自分の考えは整理され、深められていきます。算数では数ブロックや図を使った表現を通して問題場面をとらえ、式を立て、答えを見つけていました。これは、算数の大切な学び方です。こうした学びを「描き やりきり 創り出す」プロセスの中で積み上げていけるとよいですね。



3・4年生は、100のまとまりを使って計算しやすい方法を考えていました。その経験が数字や計算への抵抗感をなくしていきます。そして、100のまとまりを使って計算することのよさを強く実感していくことができます。

また、問題文を図表などに表して、そこから問いを解釈し、立式したり、解を導き出したりする学びを大事にしています。さらに、自分が考えたことを図表や文に落とし込み、数学的に説明する学びを大事にしています。こうした学びを通して、子どもたちの考えは整理されたり、深められたりしていきます。



神楽の練習にも自主的に取り組み、「神楽を自分たちで創り出そう」という気持ちが伝わり、うれしく思いました。

遠足や壮行式でも、リーダーとして活動を「やりきり」、「創り出していく」経験を積んだ3・4年生でした。



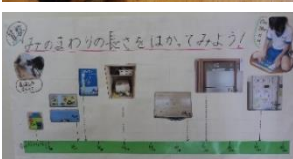
5・6年生は、講師をお招きし、農業の実態と課題について学びました。農業の現状を聞き、知ること、「なぜ学ぶのか?」「何を学ぶのか?」について考える時間になりました。学びとのいい出会いができました。また、農業人口が減ってきている背景を考えて「利益が得られにくい。」「魅力が分かっていない。」など、今



後の学習課題につながる考えが出ていました。自分たちの学びを「描く」ことができます。さらに、5・6年生は田植え体験や草とり体験もしました。体験をすることで、生産者や弥栄の農業への思いを新たにしていけることができました。今後は、食の探究・生産・加工・販売により、弥栄の魅力を発信していく学びを「創り出そう」としている5・6年生です。地域への愛着や理解、地域の一員としての自覚、社会参加の促進につながる学びができています。地域と学校がともに子どもを育てるコミュニティスクールの取組にもなっています。



やうね学級の子どもたちは、粘り強く、「やりきる」経験を積み、自信と自尊心を磨いています。それは確かな力にもなります。自分のすべき学びを最後までやりきっています。2年生の児童は計算や漢字も習得できるようになってきました。それは、何度も何度も学習してきたからです。また、身の回りのものの長さをくり返し測るで、ものさしを使って長さを測る技能や長さを測る意味を実感していくことができました。学びとくらしを結び付けていくことで、学ぶ意味を実感していくことができ、深い学びができます。



ポップコーンづくりも頑張っています。栽培から加工までの流れを描いているからこそ、見通しをもって自分たちの活動を進めていくことができるのだと思います。自立を支える大切な学びができていることをうれしく思います。描いた学びを最後までやりきってほしいですね。

授業公開・学校保健委員会・救急法講習



1・2年の学習



3・4年の学習



5・6年の学習



学校保健委員会



救急法講習

6月19日（金）には、授業公開と救急法講習会、学校保健委員会を行いました。授業公開では、多くの保護者の方にご参観いただき、子どもたちは、はりきって学びに向かっていました。今後も、子どもたちの学習活動の様子を温かく見守っていただきたいと思います。

学校保健委員会では、弥栄診療所の先生から「睡眠の重要性」について講話をしていただきました。睡眠の質が高まると、よりよい学び・仕事・くらしができます。人とのかかわりもよりよいものになっていきます。それは、心の安定につながり、睡眠の質のいっそう高めていきます。こうした好循環をくらしの中に築いていけるように、この日の学びを実生活につなげていけるとよいですね。研修部の皆様ありがとうございました。

そして、救急法講習では、一つの命を守るための方法を学びました。突発的な事態が起きないことを願うばかりですが、互いの命をみんなで守っていく意識と技能を高める貴重な機会になりました。健康安全部の皆様、ありがとうございました。子どもたちが安心安全な夏の過ごし方ができますようよろしくお願いします。健康安全部の皆様ありがとうございました。

睡眠についての研修、救急法講習は「くらしにつなげるための学び」です。みんなが健康で安全に、豊かにくらししていくために大事なことは、一つ一つの学びを実生活につなげていくことです。この日の学びをくらしの支えにしていけるとよいですね。